

入試にむけてのアドバイス  
— 中学受験編 —

**【国語】**

[前期 B・C/後期 C]

総合的な国語の力を試す出題です。

- ①漢字問題（書き取り・読み）
- ②言語事項（ことばのきまり・四字熟語・ことわざ・慣用句など）
- ③説明的文章の読解問題（字数指定の記述問題を含みます）
- ④文学的文章の読解問題（字数指定の記述問題を含みます）

筆者の主張を理解し、登場人物の心情を感じ取り、的確にまとめる力が必要です。

[後期 B]

- ①読む速さを身につけましょう。
- ②全体の要約ができることも大切です。
- ③単純に抜き出すだけではなく、文中に根拠（キーワード）などを使いながら、問いに関して、適切に表現できる力が必要です。
- ④何を問われているのかを、常に考えるようにしましょう。  
出題者が何を聞いているのか理解することが大切です。
- ⑤難関私立中学や、公立一貫校などの過去問にあたることも対策になるでしょう。

**【算数】**

[前期 B・C/後期 C]

易しい問題からやや難しい問題まで、全範囲にわたって出題されます。

四則計算：工夫して計算する方法も身につけてください。

文章題：問題をしっかり読んで、線分図などで解く練習をして下さい。

図形：平面図形の面積・立体の体積・グラフを中心に、イメージをしながら解いて下さい。

本校の過去問をしっかり解き、標準問題集で基本事項の確認と応用力を養って下さい。

[後期 B]

公立中高一貫校の適性検査を参考にしながら、基本的な問題に加え、じっくり考える問題を出題します。初めて見るタイプの問題に対する適応力や場合分け・規則性を見つけ出し、順序立ててじっくり考える能力を養って下さい。また、様々なことに対して、どのようなルールで成り立っているかを考えるようにして下さい。

### 【理科】

基本的に、物質、エネルギー、生命、地球の各分野からの出題となります。いずれも基本問題が中心ですが、一部は応用問題もあります。小学校3年～6年までの教科書をよく見直し、標準的な問題集等で練習しておくといよいでしょう。

また、基礎的な実験や観察の結果や現象に対する考察力、そしてそれらを適切に表現し説明する力なども見ます。グラフや表などを読み取る問題もよく出されます。また時事情報への興味・関心をはかることもあります。普段から身のまわりの自然現象や自然に関わるニュースなどに注意を払っておくことが大切です。

時間配分をよく考えて、特に基本問題でケアレスミスのないよう、解きやすい問題は確実に得点できるようにしてください。

### 【社会】

地理・歴史・公民のすべての分野を含んだ複合問題です。小学校5年～6年の教科書を丹念に読んでおいてください。その際、「なぜそうなったのか」「その理由は何か」といったことを考えながら読んでください。問題の約半数は選択問題です。問題をじっくりと正確に読んで解答してください。説明問題も含まれています。前年の入試問題に取り組んでおいて下さい。

体調管理に  
気をつけて、  
がんばって  
ね！



残り、数ヶ月。  
悔いの残らな  
いように、  
ファイト！

このアドバイスを参考にして頂き、  
龍谷大学付属平安中学校をぜひ受験して下さいね。